



## ■市長選挙の結果

■川合喜一市長退任

2

■ともだち、あそび、こどもの城

2

■外国人登録制度の変更

3

■職員(保健婦職)を募集

7

■<sup>裏</sup>手作りガルタで若返り

9

14

## 川越市民憲章(抜粋)

1. 郷土の伝統をたいせつにし、平和で文化の香りたかいまちにします。
1. 自然を愛し、清潔な環境を保ち、美しいいうおいのあるまちにします。
1. きまりを守り、みんなで助けあう明るいまちにします。
1. 働くことに生きがいと喜びを感じ、健康でしあわせなまちにします。
1. 教養をふかめ、心ゆたかな市民として、活力にみちたまちにします。

市役所土曜閉庁のお知らせ 2月は、13日(第2土曜日)と27日(第4土曜日)が休みです。

\* 戸籍関係(出生・死亡・婚姻など)の届け出は、本庁舎地下1階の当直室で受け付けています。

## 川越市長

次回(二月二十五日発行)では、  
舟橋新市長のあいさつを  
紹介する予定です。

## 新市長は、舟橋功一さん(60歳)に決まりました。

任期満了に伴い、平成五年一月三十日に行われた川越市長選挙の結果を

下記のとおりお知らせします。

川越市選挙管理委員会 内線503

■開票結果(届け出順・敬称略)

四九、六八六票

投票率

一二二六、九三六人

中野清

五〇、〇八四票

投票者数

一〇〇、七五三人

当舟橋功一

無効投票

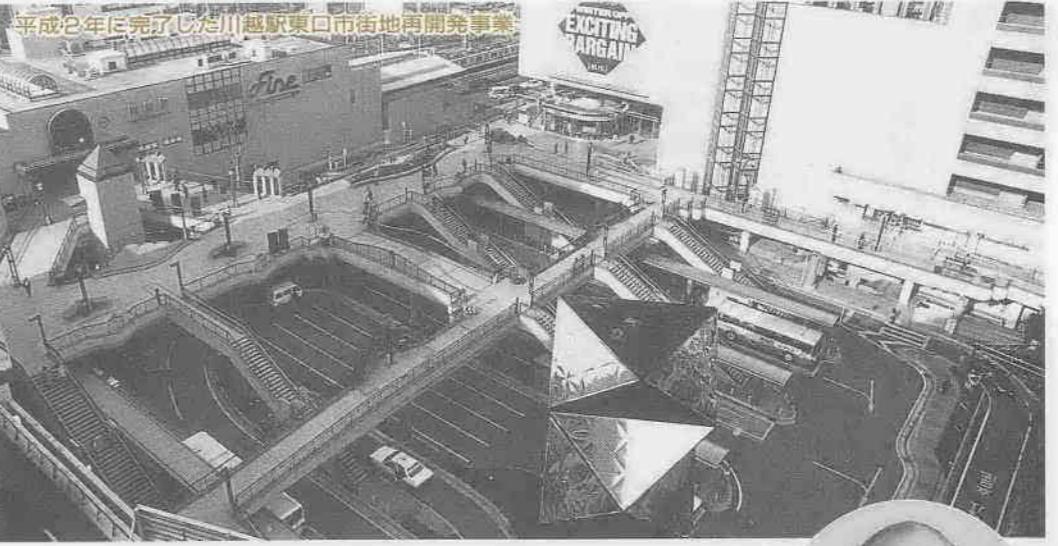
投票率

四四・四〇%

## 投票結果

当日の有権者数

四四・四〇%



### 川合喜一市長退任



### 12年間の実績を振り返って

川合喜一前市長(75歳)は、昭和五十六年二月八日に就任以来、平成五年二月七日の任期満了まで、三期十二年間にわたりて川越市の発展に寄与されました。

「地方の時代」が呼ばれた就任当時、川合前市長は、これまでの計画を見直し、「川越市総合計画」を策定。本市の将来都市像を「明るい未来をつくる緑豊かな国際性のある文化都市」と定めました。

地方の都市化が進んだ一九八〇年代。首都圏に位置する本市は、川越線電化・埼京線乗り入れなどにより、都心との利便性が向上し、人口が増加。都市基盤の整備が急務とされました。こうした中で、基本を市民の信頼の確立に置き、都市化によって損なわれがちな人間性を重視、社会の情勢を考慮しながらも流行にとらわれることなく、歴史と文化を大切にし、川越の特色を生かした調和のとれた近代的なまちづくりを進めてきました。

在任中に市の人口は、およそ二十六万人から三十一万人になりました。増え続ける川越市民のひとりひとり

が、やすらぎと潤いを感じるまちづくりのため、快適な住環境の整備、各種の福祉事業などが行われました。

第二次ベビーブーム世代の就学に備え小・中学校、女性の社会進出などの情勢に応じて保育園を建設。社会教育の拠点となる公民館施設の充実、新しい市立図書館など、地域と郷土に根ざした生涯教育の場を作りました。平成二年に完成した市立博物館もまた川越の歴史と文化を楽しみながら学び、郷土に親しむ役割を果たしています。百万灯夏祭り、ウォーキング大会など、市民参加の行事にも市民中心の考えが反映していると言えます。

首都圏に位置する観光地としてたくさん的人が訪れる川越に見合った市街地の整備では、平成二年に完了した川越駅東口市街地再開発事業、同四年に実現した一番街電線地中化は、市民の方々の協力によって成し得た大きな事業でした。特に十八年余りの長期にわたった東口再開発については、川合前市長自らが先頭立ち、事業の推進に努めました。その成果である現在の川越駅周辺は、きたるべき二十一世紀に向けたまちづくりの象徴の一つとなっています。

川越市の平成四年度の当初予算は、一千二百八億九千三百九十五万八千元。昭和五十六年度の当初予算、価値観が複雑・多様化した時代から経済の変動が激しい近年まで健全で積極的な財政を維持してきました。その中で最も重視し、平成七年度に市街化区域の普及率一〇〇パーセントをめざして進めている下水道事業は、平成五年一月末現在でおよそ普及率七〇パーセントに及んでいます。

生活に大切なものでありながら、目立たない地味な部分にも力を注いだことは、川越のさらなる発展の基礎を築いたものと言えます。これは、川合前市長が、市民と市政の相互信頼のうえに行ってきたまちづくりで、先人の輝かしい歩みによって築かれた川越に生きることに誇りを持ち、さらに住み良いまちづくりを進めてきた」といえるものです。



## 川越市児童センター こどもの城

健全な遊びを通じ、子どもたちの体力や健康を増進させ、情操豊かで健やかな育成のため、総合的な活動をする児童福祉施設です。

所在地 石原町1-41-2 ☎25-7288

休館日 月曜日、こどもの日を除く国民の祝日・休日  
月末の火曜日、年末・年始、市長が認めた日

利用時間 午前9時30分から午後5時30分まで

\*利用できるのは、乳幼児から18歳までの児童です。ただし、就学前の児童には、保護者の付き添いが必要です。付き添いとプラネタリウム利用の場合は、大人でも入館できます。



ともだち、  
あそび、  
こどもの城。

児童センターこどもの城、  
今年でちょうど十さいになりました。  
集まつてくるのは、  
太陽の明るさ、  
星のきらめきに負けないくらい  
元気にかがやく子どもたち。  
トウインクル、トウインクル、  
リトル・スター。













# 川越の伝説

70



## 下新河岸の観音さま（高階地区）

川越夜船でおなじみの新河岸川は、江戸時代の初めから昭和の初めまでつづいた物資輸送の川です。下新河岸の旭橋を中心に寺尾河岸・牛子河岸・扇河岸それに上・下新河岸の五河岸があり、たいへんに賑わった船着場です。その旭橋のすぐ近くには日枝神社があります。そして今は残つていませんが、川っぷちに観音堂がありました。ここは昔、毎年二月十五日にひらかれる馬まつりで賑わっていたそうです。農耕馬や河岸で荷物を運ぶ馬などが、百数十頭も集まつたといわれます。馬には赤や青の五色の布をまき、鈴をつけ、観音堂のまわりを數十回も乗りまわしたそうです。そして、観音さまから紙につつんだ大豆をいただき、これを食べさせると馬が一年間病気をしないというので、毎年かならずお参りしたといいます。

こここの観音さまは、南古谷の木野目長者ともつながりがあります。観音堂ができる前は、蓮華院といいます小さなお寺だったそうです。木野目長者には、一人の娘がおりました。病気にかかっていましたが、どこへいっても治りません。最後の願いとばかり、この寺に祈願しましたところ、うそのように治つてしましました。よろこんだ木野目長者は、すぐに観音さまを寄進して、りっぱなお堂をつくりました。これが観音堂のはじまりだそ�です。

川越市教育委員会社会教育課刊行「続 川越の伝説」から



絵と文 池原昭治さん

## 編集日記

TV

通勤電車の車内で見かける中吊り広告。雑誌などの宣伝広告に混じって時折あった「中吊り小説」は、すし詰め車内の乗客へのサービスを目的としたアイデアのように思えた▶あるとき、中吊りの片隅に「今度で終了」と断り書きが目に止まった。毎回読み切りの中吊り小説が姿を消したのは惜しいが、次の新企画が待たれる▶最終回は、中吊り川柳が載った。「吊り革はりハビリ兼ねる五十肩」「次ページを見たい隣の週刊誌」「下車駅を賭けて座席の前に立ち」。リズミカルで機知に富んだ秀作ばかりであった。「終点を折り返し乗る寝込み客」▶「痛勤」と呼ばれる車中に新たな潤いを期待したい。

## わが街川越 番組ガイド

38ch テレビ埼玉 毎週火曜日 午後5時30分～5時40分 土曜午後10時15分～10時25分  
■一部変更になることがあります。あらかじめご了承ください。

2.16

### 県内1ののっぽビル

県と川越市の共同事業で進められる(仮称)西部地域産業文化センターの基本構想を紹介。オフィスを中心とした150m級の高層棟、周辺の公共施設を中心とした低層棟などに、どんな導入施設が考えられているのでしょうか。



西部地域産業文化センターの模型

2.23

### 新市長誕生

1月31日(日)に行われた市長選挙の結果、新しい川越市長が誕生しました。番組では、2月8日(月)から執務に取りかかった新市長を紹介。これからの市政執行にあたっての抱負、まちづくり、川越の将来などについて尋ねます。

3.2

### 天まで揚がれ 手作り連だこ

北公民館とJCが共催で行う「連だこ作り道場」で、小学4～6年生がたこ作りに挑戦します。一生懸命作ったたこは、うまく風を受けて大空を舞うことができるでしょうか。「たこたこ揚がれ、天まで揚がれ」。

表紙 市内初のスクランブル交差点（脇田町）

関連記事は15ページ

広報川越は再生紙を使用しています。